

総合施設に関する合同の検討会議の開催について

(中央教育審議会初等中等教育分科会幼児教育部会と社会保障審議会児童部会の合同の検討会議)

1 趣旨

「就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設」の在り方についての検討を進めるため、中央教育審議会幼児教育部会委員と社会保障審議会児童部会委員からなる合同の検討会議を開催する。

2. 検討スケジュール

概ね、以下のスケジュールで検討を行い、7月中を目途として議論の取りまとめを行う。

5月21日 各部会におけるこれまでの議論の状況報告等

6月中 関係団体からの要望・意見交換

7月中 議論の取りまとめ

(注) 月1回を目途に開催 (必要に応じて2回開催)

3. 検討メンバー

両部会からそれぞれ7名ずつ参加。(別紙)

4. 運営

司会進行等を務める主査及び副主査を選出して運営。

事務局は文部科学省及び厚生労働省が交代で行う。

○ 中央教育審議会幼児教育部会からの参加委員

- 門川大作 委員 (京都市教育委員会教育長)
國分正明 委員 (前日本芸術文化振興会理事長)
酒井幸子 委員 (文京区立小日向台町幼稚園園長)
田村哲夫 部会長 (学校法人渋谷教育学園理事長)
北條泰雅 委員 (学校法人みなと幼稚園理事長)
無藤隆 委員 (白梅学園短期大学学長)
山口茂嘉 委員 (岡山大学教授)

○ 社会保障審議会児童部会からの参加委員

- 猪股祥 委員 (平塚保育園園長)
岩男寿美子 部会長 (武蔵工業大学教授、慶応大学名誉教授)
小笠原文孝 委員 (よいこのもり第2保育園園長)
柏女靈峰 委員 (淑徳大学教授)
津崎哲郎 委員 (花園大学教授)
無藤隆 委員 (白梅学園短期大学学長)
吉田正幸 委員 (有限会社遊育代表取締役)

(注) 無藤隆委員は両部会の委員

中央教育審議会幼児教育部会の開催状況

2月 2日	総合施設に関する論点説明 有識者ヒアリング（市町村）、討議
2月 17日	有識者ヒアリング（市町村）、討議
3月 2日	討議
3月 12日	有識者ヒアリング（学校法人）、討議
4月 16日	討議
4月 26日	討議
5月 17日	討議、議論の整理

社会保障審議会児童部会の開催状況

1月 15日	総合施設に関する論点説明
3月 5日	討議
3月 29日	有識者ヒアリング（市町村、大学教授）
4月 9日	有識者ヒアリング（企業、大学教授）
4月 23日	討議

○経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003（平成15年6月閣議決定）

④ 新しい児童育成のための体制整備

近年の社会構造・就業構造の著しい変化等を踏まえ、地域において児童を総合的に育み、児童の視点に立って新しい児童育成のための体制を整備する観点から、地域のニーズに応じ、就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設の設置を可能とする（平成18年度までに検討）。

総合施設に係る主な検討事項

1. 基本的な事項

- 基本理念、期待される役割
- 発達段階に応じた教育・保育の在り方
- 多様なニーズに応じた利用形態

2. 設置および管理運営

- 教職員の資格・配置の基準
- 施設・設備等の基準
- 設置主体、管理運営の在り方
- 費用負担の在り方

3. その他

- 幼稚園・保育所との関係
- 小学校との連携・接続
- 子育て支援の在り方
- その他